

2019年度

# シラバス

5年次

歯科医療の展開



日本大学松戸歯学部

## 2019年度 歯科医療の展開シラバス

### 一般目標 (GIO)

臨床実習を効果的に学修するために、臨床科目に関する基礎学力向上と診療参加型臨床実習に対する解決能力を養い、併せて保健・医療と健康管理・増進に関する知識を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

- ① 各診療科における診療の流れと使用する器材・薬剤について説明できる。
- ② 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能について説明できる。
- ③ 歯科疾患に関する病因、病態および主要症候について説明できる。
- ④ 歯科疾患の確定診断に必要な診察、検査について説明できる。
- ⑤ 歯科疾患の治療法および全身管理について説明できる。
- ⑥ 主訴・症状・徴候から正しい処置方針を立案できる。
- ⑦ 保健・医療・福祉・介護に関する法規について説明できる。
- ⑧ 健康管理・増進と予防について説明できる。
- ⑨ 歯科診療に必要な基本的な英語が理解できる。

### 講義および試験実施要項

#### I. 講義実施要項

期 間：2019年4月2日（火）～9月28日（土）

時 間：午前8時40分～9時40分（試験は別記載）

会 場：401教室

講 義：以下のテーマより9つのユニットから構成される。

ユニット1：診断情報収集と診療の流れ	オーガナイザー：瀧上 真奈
ユニット2：成長・発育	オーガナイザー：岡本 京
ユニット3：加齢と歯の欠損	オーガナイザー：飯島 守雄
ユニット4：齶蝕と硬組織欠損	オーガナイザー：岩井 啓寿
ユニット5：炎症	オーガナイザー：高井 英樹
ユニット6：検査と全身管理	オーガナイザー：下坂 典立
ユニット7：嚢胞・腫瘍	オーガナイザー：山本 泰
ユニット8：保健・医療と健康管理・増進	オーガナイザー：有川 量崇
ユニット9：正答率8割問題解説	オーガナイザー：清水 武彦

#### 講義内容：

ユニット1：臨床実習開始に当たり患者情報の収集と各種検査法、各診療科における診療の流れおよび使用する器材・薬剤について講義する。

ユニット2～7：各ユニットはテーマに基づいて①正常構造と機能→②病因、病態→③診察、検査法→④治療法を学び、さらに臨床における主訴・症状・徴候から適切な診断と処置方針の立案について講義を行う。

ユニット8：国家試験出題基準の歯科医学総論の保健・医療と健康管理・増進についての講義を行う。併せて、歯科英語の講義を行う。

ユニット9：歯科基礎医学科目の正答率8割問題解説および関連分野の講義を行う。

## II. 平常試験実施要項

試験区分 (ユニット)	実施日	試験時間	問題形式
平常試験① (ユニット1,8)	4/22 (月)	8:40~10:10(90分)	筆記, MCQ
平常試験⑨-A (ユニット9)	5/11 (土)	8:40~9:50(70分)	MCQ(100問)
平常試験② (ユニット2,8)	5/24 (金)	8:40~9:50(70分)	筆記, MCQ
平常試験⑨-B (ユニット9)	6/6 (木)	8:40~9:50(70分)	MCQ(100問)
平常試験③ (ユニット3,8)	6/19 (水)	8:40~10:00(80分)	筆記, MCQ
平常試験⑨-C (ユニット9)	6/29 (土)	8:40~9:50(70分)	MCQ(100問)
平常試験④ (ユニット4,8)	7/9 (火)	8:40~9:50(70分)	筆記, MCQ
平常試験⑤ (ユニット5,8)	7/27 (土)	8:40~9:50(70分)	筆記, MCQ
平常試験⑨-D (ユニット9)	8/20 (火)	8:40~9:50(70分)	MCQ(100問)
平常試験⑥ (ユニット6,8)	9/2 (月)	8:40~9:40(60分)	筆記, MCQ
平常試験⑦ (ユニット7)	9/13 (金)	8:40~9:40(60分)	筆記
平常試験⑧ (ユニット2~8)	9/19 (木)	8:40~10:20(100分) 10:50~12:30(100分)	MCQ (80問) MCQ (80問)

① 平常試験の追試験は原則行わない。

② 試験問題は、以下のようにする。

- ・平常試験①～⑦は筆記問題とし、ユニット8の衛生学と歯科英語の試験はMCQ形式とする。

- ・平常試験⑧は、ユニット2～8の講義内容に関して、歯科医師国家試験過去問題の改変問題 (MCQ形式160問) とする。

- ・平常試験⑨は、基本的な学力の維持・向上を目的とし、正答率8割問題 (正答率の高い過去問題) とする。計400問を4回に分けて実施する。問題は事前にWebClassに掲載する。

## III. 合格基準

平常試験の評価割合を以下のようにする。

平常試験①：診断情報収集と診療の流れ	5%
平常試験②：成長・発育	11%
平常試験③：加齢と歯の欠損	11%
平常試験④：齶蝕と硬組織欠損	11%
平常試験⑤：炎症	11%
平常試験⑥：検査と全身管理	10%
平常試験⑦：嚢胞・腫瘍	10%
平常試験⑧：まとめ試験	20%
平常試験⑨：正答率8割問題	11%

以上の合計正答率が65%以上の者を「歯科医療の展開」の合格者とする。

#### IV. 再試験について

- ① 上記合格基準に満たない者について実施する。なお、再試験の追試験は行わない。
- ② 実施日時：2019年9月28日（土）8:50～10:10（80分）
- ③ ユニット2～8の講義内容に関する筆記試験問題とする。
- ④ 再試験の正答率が65%以上の者を「歯科医療の展開」の合格者とする。なお、平常試験の結果を合格判定に加味できる。
- ⑤ 病欠（診断書を要する）など正当な理由なく講義日数の1/5を超えて欠席した者は、再試験の受験資格が与えられない。

V. 「歯科医療の展開」の成績不振学生は学修支援対象者とし、10月以降に実施される補修講義を受講しなければならない。



2019年度5年次「歯科医療の展開」講義日程表

出席確認 8:35 講義時間 8:40~9:40						
月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座・分野	講義担当者
4月1日	月	修学説明、ポリクリガイダンス		5年教育主任		
4月2日	火	診断情報収集と診療の流れ1	患者配当と問題志向型診療録 (POMR) 記載の流れ	淵上 真奈	歯科総合診療学	内田 貴之
4月3日	水	診断情報収集と診療の流れ2	臨床検査の基礎, 検査結果の読み方		口腔健康科学・ 歯科臨床検査医学分野	淵上 真奈
4月4日	木	診断情報収集と診療の流れ3	画像検査にのぞむにあたって		放射線学	平原 尚久
4月5日	金	診断情報収集と診療の流れ4	有床義歯治療の流れと使用する器材		有床義歯補綴学	石井 智浩
4月6日	土	診断情報収集と診療の流れ5	歯冠補綴治療の流れと使用する器材		クラウンブリッジ補綴学・ 口腔インプラント学	後藤 治彦
4月7日	日					
4月8日	月	診断情報収集と診療の流れ6	非歯原性口腔顔面痛に対する臨床診断推論		有床義歯補綴学	大久保 昌和
4月9日	火	診断情報収集と診療の流れ7	修復治療の流れと使用する器材・薬剤		保存修復学	大塚 一聖
4月10日	水	診断情報収集と診療の流れ8	根管治療の流れと使用する器材・薬剤		歯内療法学	岡部 達
4月11日	木	診断情報収集と診療の流れ9	歯周治療の流れ (検査・SPT・歯周外科) と使用する器具		歯周治療学	中山 洋平
4月12日	金	診断情報収集と診療の流れ10	バイタルサイン		歯科麻酔学	下坂 典立
4月13日	土	診断情報収集と診療の流れ11	外来手術の流れと使用する器材・薬剤		顎顔面外科学	枝 卓志
4月14日	日					
4月15日	月	診断情報収集と診療の流れ12	小児の扱い, 小児歯科の特色と使用する特殊器具		小児歯科学	清水 邦彦
4月16日	火	診断情報収集と診療の流れ13	セファロ分析に基づく矯正治療の流れ		歯科矯正学	五関 たけみ
4月17日	水	健康管理1	医の倫理	有川 量崇	衛生学	有川 量崇
4月18日	木	診断情報収集と診療の流れ14	障害者を取りまく環境		障害者歯科学	伊藤 政之
4月19日	金	診断情報収集と診療の流れ15	医療安全管理	5年教育主任	医療事故防止対策専門委員会	笹井 啓史
4月20日	土	診断情報収集と診療の流れ16	院内感染対策		院内感染予防対策専門委員会	笹井 啓史
4月21日	日					
4月22日	月	平常試験① (90分)		淵上 真奈		
4月23日	火	健康管理2	予防と健康管理増進 (健康増進と疾病予防・地域保健)	有川 量崇	衛生学	田口 千恵子
4月24日	水	成長・発育1	小児の歯周疾患, 軟組織疾患	岡本 京	小児歯科学	小川 奈保
4月25日	木	臨床実習ガイダンス				
4月26日	金	学外研修				
4月27日	土	成長・発育2	小児の心身発達		小児歯科学	清水 邦彦
4月28日	日					
4月29日	月					昭和の日
4月30日	火					休 講
5月1日	水					即位の日
5月2日	木					休 講
5月3日	金					憲法記念日
5月4日	土					みどりの日
5月5日	日					こどもの日
5月6日	月					振替休日
5月7日	火	成長・発育3	小児期の治療時に留意すべき疾患		小児歯科学	岡本 京
5月8日	水	成長・発育4	小児の歯・歯列の発育と特徴		小児歯科学	清水 邦彦
5月9日	木	成長・発育5	咬合誘導		小児歯科学	根本 晴子
5月10日	金	健康管理3	予防と健康管理増進 (母子保健・学校保健)	有川 量崇	衛生学	田口 千恵子
5月11日	土	平常試験②-A (70分)		5年教育主任		
5月12日	日					
5月13日	月	基礎1 生化学・分子生物学	8割問題解説	5年教育主任	生化学・分子生物学	竹内 麗理
5月14日	火	基礎2 生理学	8割問題解説		生理学	加藤 治
5月15日	水	基礎3 感染免疫学	8割問題解説		感染免疫学	柴原 紀子
5月16日	木	成長・発育6	障害者への対応		障害者歯科学	矢口 学
5月17日	金	成長・発育7	摂食・嚥下機能の発達		障害者歯科学	遠藤 眞美
5月18日	土	健康管理4	予防と健康管理増進 (成人保健・健康日本21)	有川 量崇	衛生学	田口 千恵子
5月19日	日					
5月20日	月	成長・発育8	成長発育と評価, 顎顔面頭蓋の成長発育		歯科矯正学	石井 かおり

月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座・分野	講義担当者
5月21日	火	成長・発育 9	不正咬合の特徴（下顎前突）		歯科矯正学	菊田 純
5月22日	水	成長・発育 10	不正咬合の特徴（上顎前突）		歯科矯正学	清水 真美
5月23日	木	成長・発育 11	矯正装置と矯正力		歯科矯正学	杉森 匡
5月24日	金	<b>平常試験②（70分）</b>		岡本 京		
5月25日	土	加齢と歯の欠損 1	インプラント治療の手順・診察と検査	飯島 守雄	クラウンブリッジ補綴学・ 口腔インプラント学	井下田 繁子
5月26日	日					
5月27日	月	加齢と歯の欠損 2	インプラント治療におけるトラブルと合併症		クラウンブリッジ補綴学・ 口腔インプラント学	井下田 繁子
5月28日	火	加齢と歯の欠損 3	インプラントのメンテナンス		クラウンブリッジ補綴学・ 口腔インプラント学	井下田 繁子
5月29日	水	加齢と歯の欠損 4	総義歯補綴学総論		有床義歯補綴学	河相 安彦
5月30日	木	加齢と歯の欠損 5	局部床義歯の種類		有床義歯補綴学	飯島 守雄
5月31日	金	加齢と歯の欠損 6	局部床義歯のサベイングと前処置		有床義歯補綴学	伊藤 誠康
6月1日	土	加齢と歯の欠損 7	局部床義歯の設計の原則と構成要素		有床義歯補綴学	大久保 昌和
6月2日	日					
6月3日	月	加齢と歯の欠損 8	全部床義歯の形態		有床義歯補綴学	木本 統
6月4日	火	加齢と歯の欠損 9	全部床義歯の咬合		有床義歯補綴学	木本 統
6月5日	水	加齢と歯の欠損 10	顎補綴		有床義歯補綴学	飯島守雄
6月6日	木	<b>平常試験①-B（70分）</b>		5年教育主任		
6月7日	金	基礎 4 解剖学	8割問題解説	5年教育主任	解剖学	五十嵐由里子
6月8日	土	基礎 5 歯科生体材料学	8割問題解説		歯科生体材料学	谷本 安浩
6月9日	日					
6月10日	月	基礎 6 組織学	8割問題解説		組織学	玉村 亮
6月11日	火	保健医療総論 1	社会保障制度全般	有川 量崇	医療管理学・ 保健医療政策学分野	笹井 啓史
6月12日	水	加齢と歯の欠損 11	高齢者の摂食嚥下障害とリハビリテーション		障害者歯科	三田村 佐智代
6月13日	木	加齢と歯の欠損 12	下顎運動と口腔機能検査		口腔健康科学・ 顎口腔機能治療学分野	浅野 隆
6月14日	金	加齢と歯の欠損 13	咀嚼の生理学と咀嚼系の機能障害		口腔健康科学・ 顎口腔機能治療学分野	飯田 崇
6月15日	土	加齢と歯の欠損 14	口腔顔面痛		口腔健康科学・ 顎口腔機能治療学分野	飯田 崇
6月16日	日					
6月17日	月	加齢と歯の欠損 15	高齢者の歯科治療		口腔健康科学・ 顎口腔機能治療学分野	飯田 崇
6月18日	火	保健医療総論 2	保健医療関係法規 1（歯科医師法等）		医療管理学・ 保健医療政策学分野	笹井 啓史
6月19日	水	<b>平常試験③（80分）</b>		飯島 守雄		
6月20日	木	健康管理 8	予防と健康管理増進（産業保健・国際保健）	有川 量崇	衛生学	有川 量崇
6月21日	金	齶蝕と硬組織欠損 1	診療用器具と補綴修復材料	岩井 啓寿	クラウンブリッジ補綴学・ 口腔インプラント学	田中 孝明
6月22日	土	齶蝕と硬組織欠損 2	支台築造と支台歯形成		クラウンブリッジ補綴学・ 口腔インプラント学	大村 祐史
6月23日	日					
6月24日	月	歯科英語 1	歯科英語 1	5年教育主任	生化学・分子生物学	ウジャール パワール
6月25日	火	歯科英語 2	歯科英語 2		生化学・分子生物学	ウジャール パワール
6月26日	水	歯科英語 3	歯科英語 3		生化学・分子生物学	ウジャール パワール
6月27日	木	齶蝕と硬組織欠損 3	印象採得と咬合採得	岩井 啓寿	クラウンブリッジ補綴学・ 口腔インプラント学	田中 孝明
6月28日	金	齶蝕と硬組織欠損 4	歯冠補綴装置のトラブル対処法		クラウンブリッジ補綴学・ 口腔インプラント学	大村 祐史
6月29日	土	<b>平常試験①-C（70分）</b>		5年教育主任		
6月30日	日					
7月1日	月	齶蝕と硬組織欠損 5	最新の歯冠補綴臨床	岩井 啓寿	クラウンブリッジ補綴学・ 口腔インプラント学	小林 平
7月2日	火	齶蝕と硬組織欠損 6	齶蝕の特徴と処置方針		保存修復学	寺中 文子
7月3日	水	齶蝕と硬組織欠損 7	硬組織疾患の検査		保存修復学	神谷 直孝
7月4日	木	齶蝕と硬組織欠損 8	コンポジットレジン修復の基礎		保存修復学	神谷 直孝
7月5日	金	齶蝕と硬組織欠損 9	Tooth Wearとその対応		保存修復学	岡田 珠美
7月6日	土	齶蝕と硬組織欠損 10	歯の審美障害		保存修復学	岡田 珠美

月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座・分野	講義担当者
7月7日	日					
7月8日	月	齶蝕と硬組織欠損 1 1	根面齶蝕とセメント修復		保存修復学	岩井 啓寿
7月9日	火	<b>平常試験④ (70分)</b>		岩井 啓寿		
7月10日	水	保健医療総論 3	保健医療関係法規 2 (医療法等)	有川 量崇	医療管理学・保健医療政策学分野	笹井 啓史
7月11日	木	保健医療総論 4	保健医療関係法規 3 (地域保健法等)		医療管理学・保健医療政策学分野	笹井 啓史
7月12日	金	炎症 1 病理学	炎症の病理学、歯髓組織・歯周組織・顎骨の正常構造	高井 英樹	病理学	宇都宮 忠彦
7月13日	土	炎症 2 歯内療法学	歯髓炎・根尖性歯周炎の分類・診断		歯内療法学	岡部 達
7月14日	日					
7月15日	月					海の日
7月16日	火	炎症 3 歯内療法学	歯髓炎・根尖性歯周炎の治療の基礎		歯内療法学	神尾 直人
7月17日	水	炎症 4 歯内療法学	歯髓炎・根尖性歯周炎の治療の基礎		歯内療法学	神尾 直人
7月18日	木	炎症 5 歯周治療学	歯周疾患 (主に歯肉炎・歯周炎) の分類・診断・治療の基礎		歯周治療学	高井 英樹
7月19日	金	炎症 6 歯周治療学	歯周疾患 (主に歯肉炎・歯周炎) の分類・診断・治療の基礎		歯周治療学	高井 英樹
7月20日	土	炎症 7 歯周治療学	歯周疾患 (主に歯肉炎・歯周炎) の分類・診断・治療の基礎		歯周治療学	高井 英樹
7月21日	日					
7月22日	月	炎症 8 顎顔面外科	隙の分類・炎症の波及経路		顎顔面外科学	青木 暁宣
7月23日	火	炎症 9 顎顔面外科	顎骨の炎症 (主に骨髄炎・上顎洞炎) の病期・分類・診断、症状と治療の基礎		顎顔面外科学	青木 暁宣
7月24日	水	健康管理 5	予防と健康管理増進 (フッ化物応用)	有川 量崇	衛生学	田口 千恵子
7月25日	木	健康管理 6	予防と健康管理増進 (医療統計)		衛生学	有川 量崇
7月26日	金	健康管理 7	予防と健康管理増進 (保健指導・口腔清掃)		衛生学	田口 千恵子
7月27日	土	<b>平常試験⑤ (70分)</b>		高井 英樹		
7月28日	日					
7月29日	月					
7月30日	火					
7月31日	水					
8月1日	木	夏季休暇				
8月2日	金					
8月3日	土					
8月4日	日					
8月5日	月					
8月6日	火					
8月7日	水					
8月8日	木					
8月9日	金					
8月10日	土					
8月11日	日					山の日
8月12日	月					振替休日
8月13日	火					
8月14日	水					
8月15日	木					
8月16日	金					
8月17日	土	保健医療総論 5	薬事関係法規 (薬機法等)	有川 量崇	医療管理学・保健医療政策学分野	笹井 啓史
8月18日	日					
8月19日	月	保健医療総論 6	福祉・介護関係法規 (介護保険法等)		医療管理学・保健医療政策学分野	笹井 啓史
8月20日	火	<b>平常試験⑨-D (70分)</b>		5年教育主任		
8月21日	水	基礎 7 薬理学	8割問題解説	5年教育主任	薬理学	松本 裕子
8月22日	木	検査, 全身管理 1	有病者の検査項目について (1)	下坂典立	口腔健康科学・歯科臨床検査医学分野	瀧上 真奈
8月23日	金	検査, 全身管理 2	有病者の検査項目について (2)		口腔健康科学・歯科臨床検査医学分野	瀧上 真奈
8月24日	土	検査, 全身管理 3	糖尿病患者の全身管理について		歯科麻酔学	鈴木 正敏
8月25日	日					
8月26日	月	検査, 全身管理 4	循環器疾患患者の全身管理について (1)		歯科麻酔学	下坂 典立
8月27日	火	検査, 全身管理 5	循環器疾患患者の全身管理について (2)		歯科麻酔学	下坂 典立
8月28日	水	検査, 全身管理 6	精神疾患、神経疾患患者の全身管理について		歯科麻酔学	山口 秀紀
8月29日	木	検査, 全身管理 7	画像検査 (1)		放射線学	平原 尚久
8月30日	金	検査, 全身管理 8	画像検査 (2)		放射線学	平原 尚久
8月31日	土	検査, 全身管理 9	画像検査 (3)		放射線学	平原 尚久
9月1日	日					
9月2日	月	<b>平常試験⑩ (60分)</b>		下坂 典立		



月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座・分野	講義担当者
9月3日	火	嚢胞・腫瘍1	嚢胞の分類	山本 泰	病理学	宇都宮 忠彦
9月4日	水	嚢胞・腫瘍2	顎骨の歯原性嚢胞と非歯原性嚢胞		口腔外科学	田中 茂男
9月5日	木	嚢胞・腫瘍3	腫瘍の分類		病理学	宇都宮 忠彦
9月6日	金	嚢胞・腫瘍4	良性腫瘍の診断と治療		口腔外科学	濱野 美緒
9月7日	土	嚢胞・腫瘍5	悪性腫瘍の診断と治療①		口腔外科学	山本 泰
9月8日	日					
9月9日	月	嚢胞・腫瘍6	悪性腫瘍の診断と治療②		口腔外科学	山本 泰
9月10日	火	嚢胞・腫瘍7	顎変形症の診断と治療		顎顔面外科学	枝 卓志
9月11日	水	嚢胞・腫瘍8	先天異常・奇形について（主に唇顎口蓋裂）		口腔健康科学・顎顔面矯正学分野	大峰 浩隆
9月12日	木	嚢胞・腫瘍9	神経疾患の診断と治療		脳神経・頭頸部外科学	廣田 均
9月13日	金	<b>平常試験⑦（60分）</b>		山本 泰		
9月14日	土	自学自習		5年教育主任		
9月15日	日					
9月16日	月	敬老の日				
9月17日	火	自学自習				
9月18日	水	自学自習				
9月19日	木	<b>平常試験⑧まとめ(100分×2)</b>		5年教育主任		
9月20日	金	自学自習				
9月21日	土	自学自習				再試験該当者選定、発表予定
9月22日	日					
9月23日	月	秋分の日				
9月24日	火	自学自習				
9月25日	水	自学自習				
9月26日	木	自学自習				
9月27日	金	自学自習				
9月28日	土	<b>再試験（80分）（出席確認後）</b>		5年教育主任		
9月29日	日					
9月30日	月	歯科医学総合講義5ガイダンス		5年教育主任		

講義日	時限	国試出題基準
04月02日	1時限	必修-9-ウ-a

---

担当者 \*内田 貴之

テーマ： POSに基づく問題志向型診療録の記載

授業の一般目標： 患者が抱える健康に関する問題を解決するために、POSに基づく問題志向型診療録（POMR）の記載方法を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 当院における診療システム、特にSD診療に関して説明できる。
- 3) POMRの意義について説明できる。
- 4) POMRの構成を説明できる。
- 5) POMRの記載方法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：4年次医療行動科学8における問題志向型診療録の例示「松戸太郎」を一度読んでから、必ず持参して授業を受けること。
- ・事前学修時間：20分
- ・事後学修項目：授業の内容を理解する。
- ・事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月03日	1時限	必修-10-エ-a 必修-10-ウ-a 必修-10-ウ-b 総論-VI-3-ア-b 各論-III-4-サ

---

担当者 \*瀧上 真奈

テーマ： 臨床検査の基礎、検査結果の読み方

授業の一般目標： 全身状態を有する患者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査の基礎、検査値および検査結果の読み方を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 臨床検査の意義を述べられる。
- 3) 全身状態の診断に必要な検査項目と意義を述べられる。
- 4) 各臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：検査項目と基準値を事前に確認する。4年次で使用した臨床検査学のノートを見直し、授業時に持参すること。
- ・事前学修時間：40分
- ・事後学修項目：授業時に配布したプリントを理解する。
- ・事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
04月04日	1時限	必修-10-c-d

---

担当者 \*平原 尚久

テーマ： 画像検査の基本

授業の一般目標： 顎顔面領域の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 口内法エックス線検査を説明できる。
- 3) パノラマエックス線検査を説明できる。
- 4) 画像検査の選択基準を説明する。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：各種画像検査法の特徴、選択基準を事前に確認する。2・3年次で使用した放射線学のノートを見直し、授業時に持参すること。
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：授業で配布した資料。
- ・事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月05日	1時限	

---

担当者 \*石井 智浩

テーマ： 有床義歯補綴学の治療ステップと必要な器材

授業の一般目標： 有床義歯治療時に必要な器材の準備と治療介助ができるようになるために、治療の流れと使用する器材について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 有床義歯製作時の治療ステップを説明できる。
- 3) 有床義歯製作のための印象採得時に必要な器材について説明できる。
- 4) 有床義歯製作のための咬合採得時に必要な器材について説明できる。
- 5) 義歯調整時に必要な器材について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：有床義歯製作時の治療ステップ、印象採得と咬合採得および義歯調整時に必要な器材について予習する。
- ・事前学修時間：1時間
- ・事後学修項目：有床義歯製作時の治療ステップ、印象採得と咬合採得および義歯調整時に必要な器材について、診療室における事後確認
- ・事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
04月06日	1時限	各論-IV-3-イ-c 各論-IV-3-イ-b 各論-IV-3-イ-d 各論-IV-3-イ-e 各論-IV-3-イ-f 各論-IV-3-イ-h 各論-IV-3-イ-i

---

担当者 \*小林 平

テーマ： 歯冠補綴治療の流れと使用する器具

授業の一般目標： 歯冠補綴治療時に必要な器具の準備と診療介助ができるようになるために、臨床実習で行う歯冠補綴治療の流れと使用する器材を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 根管形成に使用する器材を説明できる。
- 3) 支台築造法の種類と使用する器材を説明できる。
- 4) 歯肉圧排の方法と使用する器材を説明できる。
- 5) 支台歯形成に必要な器材を説明できる。
- 6) 精密印象、咬合採得に使用する器材を説明できる。
- 7) プロビジョナルレストレーションの製作法と必要な器材を説明できる。
- 8) クラウン・ブリッジの試適、調整、仮着に必要な器材を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版。クラウンブリッジ補綴学実習指針により、診療のステップを確認する。
- ・事前学修時間：1時間
- ・事後学修項目：授業の内容を理解する。
- ・事後学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月08日	1時限	各論-IV-1-カ 総論-III-1-ケ-d 各論-III-3-イ-f 各論-III-3-ウ-k

---

担当者 \*大久保 昌和

テーマ： 非歯原性口腔顔面痛に対する臨床診断推論

授業の一般目標： 口腔顔面痛患者の診療プロセスを理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する
- 2) 口腔顔面痛の分類を説明できる。
- 3) 非歯原性口腔顔面痛を説明できる。
- 4) 口腔顔面痛患者の診療プロセスを説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：参考図書 日本口腔顔面痛学会編 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック第2版
- ・事前学習時間：120分
- ・事後学修項目：配布資料の復習
- ・事後学修時間：120分

講義日	時限	国試出題基準
04月09日	1時限	必修-1 2-ケ-b 必修-1 2-セ-b 必修-1 2-セ-h

---

担当者 \*大塚 一聖、\*神谷 直孝

テーマ： 修復治療の流れと使用する器材、薬剤

授業の一般目標： 保存修復処置に用いる材料や器材を適切に取り扱えるようになるために、材料や器材の名称、使用方法、特徴について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 各種修復材料の名称、使用方法および特徴について説明できる。
- 3) 各種修復材料の使用上の注意点について理解する。
- 4) 切削器具の名称、使用方法および特徴について説明できる。
- 5) 修復前準備に用いる器具の名称、使用方法および特徴について理解する。
- 6) 修復前準備の注意点について理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：保存修復学（第6版）のp. 97～108、p. 139～221再読し予習を行う。
- ・事前学修時間：50分
- ・事後学修項目：授業の内容を理解する。
- ・事後学修時間：50分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月10日	1時限	総論-VII-2-A-b

---

担当者 \*岡部 達

テーマ： 根管治療の流れと使用する器材・薬剤

授業の一般目標： 根管治療の技術を習得するために、根管治療の術式および使用する器具・薬剤について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 根管治療の術式について説明できる。
- 3) 根管治療に必要な器具について説明できる。
- 4) 根管治療に必要な薬剤について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：根管治療の流れ、検査項目を事前に確認する。教科書および歯内療法学実習書を読んで確認する。
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：授業時配布プリント内容の確認をする。
- ・事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
04月11日	1時限	各論-Ⅱ-3-ウ-b 各論-Ⅱ-3-ウ-d 各論-Ⅱ-3-ウ-e 各論-Ⅱ-3-ウ-i

---

担当者 \*中山 洋平

テーマ： 歯周治療の流れ（検査・SPT・歯周外科）と使用する器具

授業の一般目標： 患者実習を行うために必要な歯周治療を実施するための知識を習得し、総合的に歯周治療の流れを理解する

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する
- 2) 歯周治療の流れについて理解する
- 3) 歯周基本治療の種類と目的を説明できる
- 4) 歯周病検査の項目とその目的を説明できる
- 5) 歯周基本治療で使用する器具を列挙できる
- 6) 歯周外科治療で使用する器具とその用途を説明できる
- 7) メンテナンスとSPTについて説明できる

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：歯周治療の流れ、歯周基本治療と歯周病検査項目を事前に確認する。3、4年次で使用した歯科保存学1、2実習書(歯周治療学実習書)を読んで確認すること。
- ・事前学修時間30分
- ・事後学修項目：歯周疾患の病因、病態を把握するために必要な検査項目を理解し、病因に対応した歯周基本治療を列挙できるようにする。それらを行うために必要な器具と治療の流れを理解する。
- ・事後学修時間：40分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月12日	1時限	総論-V-1-カ-a 必修-9-エ-c

---

担当者 \*下坂 典立

テーマ： Vital signs 測定、スタンダードプレコーションについて

授業の一般目標： 患者および医療者の安全に適切に対応できるようになるために、Vital Signsの測定および感染対策について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 脈拍の測定方法について説明することができる。
- 3) 血圧の測定方法について説明することができる。
- 4) 心電図検査について説明することができる。
- 5) 基本的な心電図波形について説明することができる。
- 6) スタンダードプレコーションについて説明することができる。
- 7) 手術室の感染対策について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：スタンダード 全身管理・歯科麻酔学第3版または4版「6.術中管理、B循環管理」について学修しておく。
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。
- ・事後学修時間：45分

講義日	時限	国試出題基準
04月13日	1時限	必修-1 2-ケ-a

---

担当者 \*青木 暁宣

テーマ： 粘膜切開、剥離、縫合、抜歯等の外来手術の流れと使用機材・薬剤について。手指消毒、術野の消毒について。

授業の一般目標： 口腔外科外来手術時に必要な器材の準備と治療介助ができるようになるために、外来手術の流れと使用する器材・薬剤について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 手指と術野の消毒について説明できる。
- 3) 抜歯に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。
- 4) 粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。
- 5) 縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：手術前準備、外科基本手技、基本使用器具
- ・事前学修時間：1時間
- ・事後学修項目：授業の内容を理解する。
- ・事後学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月15日	1時限	必修-1 2-イ-a

---

担当者 \*清水 邦彦

テーマ： 小児の扱い・小児歯科の特色と使用する特殊器具

授業の一般目標： 小児への対応を適切に行うために、小児歯科の特色と使用する器具について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 年齢ごとの小児への対応を説明できる。
- 3) 小児歯科の器具について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学習項目：低年齢児の対応法
- 事前学修時間：1時間
- 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理
- 事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
04月16日	1時限	各論-I-7-イ

---

担当者 \*五関 たけみ

テーマ： セファロ分析に基づく矯正治療の流れ

授業の一般目標： 適切な矯正治療を行うためにセファロ分析に基づく矯正治療の流れを理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) セファロ撮影の方法について説明できる。
- 3) セファロ分析の基準点・基準平面について説明できる。
- 4) 精密検査で行う項目を列挙し、それぞれの目的を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：①矯正臨床における検査 ②形態検査の種類
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：セファロ分析について
- ・事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月17日	1時限	必修-1-ア-a 必修-1-ア-b 必修-1-イ-a 必修-1-イ-b

---

担当者 \*有川 量崇

テーマ： 医の倫理

授業の一般目標： 歯科医師として必要な医の倫理，自己決定権，患者の権利と義務を学び，医療人として社会における役割と責任について理解し，修得できる。

到達目標SBOs：

- 1) ニュルンベルグ綱領、ヘルシンキ宣言を説明できる。
- 2) ジュネーブ宣言，リスボン宣言，ヒポクラテスの誓いを説明できる。
- 3) インフォームドコンセント、セカンドオピニオンを説明できる。
- 4) 患者の権利と義務、自己決定権を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：医の倫理，患者の権利に関する声明
- 事前学修時間：30分
- 事後学修項目：医の倫理，患者の権利に関する声明
- 事後学修時間：30分



講義日	時限	国試出題基準
04月18日	1時限	総論-I-2-カ-c 必修-2-ア-d

---

担当者 \*伊藤 政之

テーマ： 障害者を取りまく環境

授業の一般目標： 平成28年4月1日から施行された障害者差別解消法について、これまでの成立過程やその内容を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する
- 2) 障害者権利条約についてその概要を説明することができる。
- 3) 障害者差別解消法についてその概要を説明することができる。
- 4) 合理的配慮を説明することができる。
- 5) バリアフリー・コンフリクトを説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：厚生労働省のHPを閲覧し、「厚生労働省における障害を理由とする差別の解消の推進」の中の「医療関係事業者向けガイドライン」の内容を確認しておく。

事前学修時間：30分

事後学習項目：授業配布資料を用いて確認する。

事後学習時間：20分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月19日	1時限	必修-2-オ-e 必修-2-オ-a 必修-2-オ-b 必修-2-オ-c 必修-2-オ-d 必修-2-オ-f 必修-2-オ-g 必修-2-オ-h

---

担当者 \*笹井 啓史

テーマ： 医療安全対策

授業の一般目標： 安全な歯科医療を提供するために、医療安全対策に必要な知識を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 医療における安全管理とそれを実現するための対策について説明できる。
- 3) インシデント・アクシデントについて説明できる。
- 4) ヒューマンエラーについて説明できる。
- 5) 医療事故と医療過誤、それらにおける歯科医師の責務について説明できる

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：医療安全対策、医療事故

事前学修時間：180分

事後学修項目：医療安全対策、医療事故

事後学修時間：180分

講義日	時限	国試出題基準
04月20日	1時限	必修-2-カ-a 必修-2-カ-b 必修-2-カ-c 必修-2-カ-d

---

担当者 \* 笹井 啓史

テーマ： 院内感染対策

授業の一般目標： 安全な歯科医療を行うために、感染予防対策に関する必要な知識を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 1. 医療安全管理について説明できる。
- 3) 2. インシデント・アクシデントについて説明できる。
- 4) 5. 感染について説明できる。
- 5) 6. 感染対策について説明できる。
- 6) 7. 標準予防策と経路別予防策について説明できる。
- 7) 8. 手指衛生の方法について説明できる。
- 8) 9. PPE (個人防護用具) について説明できる。
- 9) 10. スポルディング分類について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学習項目：院内感染対策、滅菌・消毒、他  
事前学習時間：180分  
事後学習項目：院内感染対策、滅菌・消毒、他  
事後学習時間：180分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月22日	1時限	

---

担当者 \* 清水 武彦、\* 瀧上 真奈

テーマ： 平常試験①

授業の一般目標： 診断情報収集と診療の流れについて理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 診断情報収集と診療の流れについて理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：診断情報収集と診療の流れ  
事前学修時間：4時間  
事後学修項目：診断情報収集と診療の流れ  
事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
04月23日	1時限	総論-I-1-ア-a 総論-I-1-エ-c

---

担当者 田口 千恵子

テーマ： 予防と健康管理増進（健康増進と疾病予防）

授業の一般目標： 健康の概念と健康増進、疾病予防、健康管理について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 健康の概念について説明できる。
- 2) プライマリーヘルスケアについて説明できる。
- 3) ヘルスプロモーションについて説明できる。
- 4) 地域保健について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：健康・疾病・予防における概念の学修  
事前学修時間：30分  
事後学修項目：健康・疾病・予防における概念の学修  
事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月24日	1時限	各論-II-3-エ-a 各論-II-3-エ-b 各論-III-1-ク-a 各論-III-1-ク-d 各論-III-1-ク-j 各論-III-1-ク-u

---

担当者 \*小川 奈保

テーマ： 小児の歯周疾患、軟組織疾患

授業の一般目標： 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、歯周疾患、口腔軟組織疾患について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 小児の歯周疾患の種類および特徴について説明できる。
- 3) 小児の歯周疾患の処置について説明できる。
- 4) 口腔軟組織について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：小児の歯周疾患、口腔軟組織疾患  
事前学修時間：1時間  
事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理  
事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
04月27日	1時限	必修-6-イ-c

---

担当者 \*清水 邦彦

テーマ： 小児の心身発達

授業の一般目標： 小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の心身発達について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。
- 2) 小児の身体発達について説明できる。
- 3) 小児の情動の発達について説明できる。
- 4) 小児の運動機能の発達について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：小児の発達  
事前学修時間：1時間  
事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理  
事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月07日	1時限	各論-I-1-イ-d 各論-I-1-イ-c 各論-I-1-イ-e 各論-I-1-イ-f 各論-I-1-イ-g 各論-I-1-イ-h 各論-I-1-イ-j 各論-I-1-ウ-a

---

担当者 \*岡本 京

テーマ： 小児期の治療時に留意すべき疾患

授業の一般目標： 小児への対応を適切に行うために、小児期の治療時に留意すべき疾患について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 口腔症状を伴う全身疾患について説明できる。
- 3) 口腔症状を伴う全身疾患についての治療上の注意について説明できる。
- 4) 遺伝性疾患とその顎頭蓋顔面症候について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：『小児の口腔科学』小児の留意すべき疾患  
事前学修時間：60分  
事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理  
事後学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準  
05月08日 1時限 必修-6-ウ-a

---

担当者 \*清水 邦彦

テーマ： 小児の歯・歯列の発育と特徴

授業の一般目標： 小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の歯・歯列の発育と特徴について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2)乳歯、永久歯の形態および特徴を説明できる。
- 3)歯の形態異常を説明できる。
- 4)歯の発育時期について説明できる。
- 5)Hellmanの歯齢を列記できる。
- 6)乳歯列および混合歯列の特徴を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：歯列・咬合の発育、歯の発育と異常  
事前学修時間：1時間  
事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理  
事後学修時間：30分

=====

講義日 時限 国試出題基準  
05月09日 1時限 各論-I-5-イ-b 各論-I-5-イ-a 各論-I-5-イ-c 各論-I-5-ア 各論-I-5-ウ 各論-I-5-エ

---

担当者 \*根本 晴子

テーマ： 咬合誘導

授業の一般目標： 乳歯および混合歯列期に生じた歯の欠損と歯列不正に対応するために、静的咬合誘導（保隙）と動的咬合誘導を理解する。

到達目標SBOs：

- 1)臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2)保隙の必要性を説明できる。
- 3)咬合誘導の概念を説明できる。
- 4)歯列不正の原因を説明できる。
- 5)保隙装置とその適応、管理について説明できる。
- 6)保隙装置の作成方法および作成時の注意点について説明できる。
- 7)動的咬合誘導に使用する装置とその適応について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：『小児の口腔科学』咬合誘導  
事前学修時間：60分  
事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理  
事後学修時間：60分

講義日            時限            国試出題基準  
05月10日        1時限        総論-I-2-A-c 総論-I-2-I-b

---

担当者        田口 千恵子

テーマ：        予防と健康管理増進（母子保健と学校保健）

授業の一般目標： 健康管理増進における母子保健、学校保健について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 母子保健について説明できる。
- 2) 母子保健法について概説できる。
- 3) 母子歯科保健について説明できる。
- 4) 学校保健について説明できる。
- 5) 学校保健安全法について説明できる。
- 6) 学校歯科保健について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：母子保健、学校保健において行われる事項の学修  
事前学修時間：30分  
事後学修項目：母子保健、学校保健において行われる事項の学修  
事後学修時間：30分

-----  
講義日            時限  
05月11日        1時限

---

担当者        \*清水 武彦

テーマ：        平常試験⑨-A

授業の一般目標： 正答率8割問題⑨-A領域について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 正答率8割問題⑨-A領域について理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：正答率8割問題⑨-A領域  
事前学修時間：4時間  
事後学修項目：正答率8割問題⑨-A領域  
事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
05月13日	1時限	必修-5-A-a 必修-5-A-b 必修-5-A-c

---

担当者 竹内 麗理

テーマ： 基礎1 生化学・分子生物学

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた生化学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 生命を構成する基本物質を説明できる。
- 2) 細胞の構造と機能を説明できる。
- 3) 遺伝子からタンパク質が合成されるまでの過程を説明できる。
- 4) 情報伝達機構、細胞外基質を説明できる。
- 5) 炎症の機序、骨代謝を説明できる。
- 6) 歯の硬組織や唾液の成分、それらの機能を説明できる。
- 7) 齲蝕や歯周疾患の成り立ちを説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：8割問題の復習
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：8割問題の再復習
- ・事後学修時間：15分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月14日	1時限	必修-5-A-e

---

担当者 加藤 治

テーマ： 基礎2 生理学

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた生理学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 循環と呼吸の調節機構を説明できる。
- 2) 内分泌系による恒常性の維持メカニズムを説明できる。
- 3) 神経系による恒常性の維持メカニズムを説明できる。
- 4) 感覚の伝導と成立を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：8割問題の復習
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：8割問題の再復習
- ・事後学修時間：15分

講義日	時限	国試出題基準
05月15日	1時限	必修-7-ア-e 必修-5-イ-a 必修-5-イ-b 必修-5-イ-c 必修-5-ア-f

---

担当者 栗原 紀子

テーマ： 基礎3 感染免疫学

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた微生物および免疫学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1)細菌・真菌・ウイルスの基本的性状を説明できる。
- 2)免疫担当臓器、細胞について説明できる。
- 3)自然免疫・獲得免疫について説明できる。
- 4)感染経路と感染成立までの過程を説明できる。
- 5)免疫不全・アレルギー・自己免疫疾患について説明できる。
- 6)細菌・真菌・ウイルス感染症の種類と起因する微生物を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：8割問題の復習
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：8割問題の再復習
- ・事後学修時間：15分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月16日	1時限	総論-V-3-ウ

---

担当者 \*矢口 学

テーマ： 障害者への対応

授業の一般目標： スペシャルニーズがある人に対する歯科臨床場面において、治療に対する不安や恐怖を取り除くための支援について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2)1) 行動調整について説明できる。
- 3)2) オリエンテーションについて説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科（医歯薬出版）
- ・事前学修時間：30分
- ・事前学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理
- ・事後学修時間：30分



講義日	時限	国試出題基準
05月17日	1時限	総論-Ⅱ-8-ウ-a

---

担当者 \*遠藤 眞美

テーマ： 摂食・嚥下機能の発達

授業の一般目標： 摂食・嚥下リハビリテーションに必要な摂食・嚥下機能の発達について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 2. 哺乳機能について説明できる。
- 3) 3. 離乳期の摂食嚥下機能について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科（医歯薬出版）
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理
- ・事後学習時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月18日	1時限	総論-I-1-イ-e 総論-I-2-エ-a 総論-I-2-エ-b

---

担当者 田口 千恵子

テーマ： 予防と健康管理増進（成人保健・健康日本21）

授業の一般目標： 健康管理増進のための成人保健、健康政策について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 第二次健康日本21について概説できる。
- 2) メタボリックシンドロームについて説明できる。
- 3) 禁煙指導について説明できる。
- 4) 生活習慣病について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：健康増進日本21の概略
- 事前学修時間：30分
- 事後学修項目：健康増進日本21の概略
- 事後学修時間：30分

講義日 時限 国試出題基準  
05月20日 1時限 必修-6-U-b 必修-6-I-c 総論-II-8-I-a 総論-II-9-E-a

---

担当者 \*石井 かおり

テーマ： 成長発育と評価

授業の一般目標： 口腔・顎・顔面の成長発育を考慮した矯正治療を実践するために、頭蓋・顎顔面の成長パターンおよび成長発育の評価法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 成長発育の評価について説明できる。
- 3) 骨年齢とその評価について説明できる。
- 4) 成長スパートの予測について説明できる。
- 5) 脳頭蓋の成長について説明できる。
- 6) 上顎骨の成長発育の特徴について説明できる。
- 7) 下顎骨の成長発育の特徴について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：①Scammonの臓器発育曲線について ②生理的年齢について ③脳頭蓋の成長様式について ④上下顎骨の成長発育の特徴について
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：顎顔面頭蓋の成長発育について
- ・事後学修時間：60分

・準備学修時間：60分

=====

講義日 時限 国試出題基準  
05月21日 1時限 各論-I-6-I

---

担当者 \*五関 たけみ、\*菊田 純

テーマ： 不正咬合の特徴1（下顎前突）

授業の一般目標： 下顎前突を主訴に来院した患者の相談に適切に対応するために必要な基本的知識について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 下顎前突の発現要因を説明できる。
- 3) 機能性反対咬合の特徴を述べることができる。
- 4) 骨格性下顎前突の特徴を述べることができる。
- 5) 反対咬合の早期治療について説明できる。
- 6) 反対咬合の治療に用いる装置とその使用目的を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：①早期治療について ②機能検査の種類について ③乳歯混合歯列で使用する矯正装置について
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：①早期治療について ②骨格性反対咬合と機能性反対咬合の鑑別について ③機能性反対咬合の治療計画について
- ・事後学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準  
05月22日 1時限 各論-I-6-イ

---

担当者 \*五関 たけみ

テーマ： 不正咬合の特徴2（上顎前突）

授業の一般目標： 上顎前突を主訴に来院した患者からの相談に適切に対応するために必要な基本的知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 上顎前突の発現要因を説明できる。
- 3) 上顎前突の形態的特徴を列挙できる。
- 4) 上顎前突の機能的特徴を列挙できる。
- 5) 上顎前突の早期治療について説明できる。
- 6) 上顎前突の治療に用いる矯正装置とその使用目的を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：①早期治療について ②口腔習癖について ③乳歯混合歯列で使用する矯正装置について
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：①早期治療について ②AngleⅡ級不正咬合の特徴について
- ・事後学修時間：60分

=====

講義日 時限 国試出題基準  
05月23日 1時限 各論-I-9-ア-a

---

担当者 \*杉森 匡、\*五関 たけみ

テーマ： 矯正装置と矯正力

授業の一般目標： 適切な矯正治療を行うために、矯正装置の特徴と矯正力について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 舌側弧線装置について説明できる。
- 3) 機能性矯正装置について説明できる。
- 4) 矯正力の種類について説明できる。
- 5) 顎整形力を発揮する矯正装置を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：①早期治療について ②乳歯混合歯列で使用する矯正装置について
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：①矯正装置の使用目的について ②矯正力の種類について
- ・事後学修時間：60分

講義日 時限  
05月24日 1時限

---

担当者 \*清水 武彦、\*岡本 京

テーマ： 平常試験②

授業の一般目標： 成長・発育の領域について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 成長・発育の領域について理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：成長・発育の領域  
事前学修時間：4時間  
事後学修項目：成長・発育の領域  
事後学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月25日	1時限	各論-IV-6-A-b

---

担当者 \*井下田 繁子

テーマ： インプラント治療の手順・診査と検査

授業の一般目標： 欠損補綴の回復法を適切に患者へ提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) インプラント補綴における治療計画を説明できる。
- 3) インプラント治療における全身状態の評価の目的と方法を説明できる。
- 4) インプラント治療で問題となる全身疾患を説明できる。
- 5) インプラントの局所の診察の臨床的意義を説明できる。
- 6) インプラントの画像検査法とガイドドサージェリーについて説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

・事前学修項目：4年次配布資料、よくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2016、  
口腔インプラント実習書動画  
・事前学修時間：45分  
・事後学習項目：授業時配布資料およびよくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2016、口腔インプラント 実習書動画  
・事後学習時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
05月27日	1時限	各論-IV-6-イ-g 各論-IV-8-オ-b 各論-IV-8-オ-c 各論-IV-8-オ-e

---

担当者 \*井下田 繁子

テーマ： インプラント治療におけるトラブルと合併症

授業の一般目標： 欠損補綴の回復法を適切に患者へ提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 口臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) インプラント体埋入手術中、直後のトラブルと合併症を説明できる。
- 3) 上部構造装着後のトラブルと合併症を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：4年次配布資料、よくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2016、口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015
- ・事前学修時間：45分
- ・事後学習項目：授業時配布資料およびよくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2016、口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015
- ・事後学習時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月28日	1時限	各論-IV-8-オ-f 各論-IV-8-オ-a 各論-IV-8-オ-b 各論-IV-8-オ-e

---

担当者 \*井下田 繁子

テーマ： インプラントのメンテナンス

授業の一般目標： 欠損補綴の回復法を適切に患者へ提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 口臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) メンテナンスの必要性を理解する。
- 3) メンテナンスの術式を説明できる。
- 4) 支持療法の目的・方法を説明できる。
- 5) 支持療法の重要性を理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：4年次配布資料、よくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2016、口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015
- ・事前学修時間：45分
- ・事後学習項目：授業時配布資料およびよくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2016、口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015
- ・事後学習時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
05月29日	1時限	各論-IV-2-ア 各論-IV-2-ウ 各論-IV-2-エ

---

担当者 \*河相 安彦

テーマ： 無歯顎補綴治療の検査・診察

授業の一般目標： 無歯顎患者の旧義歯における問題点の解決と新義歯の治療を円滑に進めるために必要な知識、技能および態度を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 無歯顎患者のプロブレムリストを作成できる
- 3) 患者の補綴学的、身体的、社会的な問題点を抽出できる
- 4) 旧義歯の問題点を補綴学的に解釈できる
- 5) 旧義歯の問題点に関する検査を列挙できる
- 6) 検査結果を観察記録として記載できる
- 7) 観察記録を総合して問題点の考察ができる
- 8) 問題点の考察に基づき原因の診断ができる
- 9) 診断に基づき、治療計画を立案できる
- 10) 治療計画に基づき対処を行う事ができる

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：無歯顎補綴治療学第2版 p76～83

困ったときにSEOAPで解決 有床義歯トラブルシューティング p2～20

準備学修時間：1時間

事後学修項目：授業プリントに基づく患者配当後のグループ学修

事後学修時間：6時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月30日	1時限	各論-IV-1-ア

---

担当者 \*飯島 守雄

テーマ： 局部床義歯の種類と目的

授業の一般目標： 歯列の部分欠損の特性を理解し、可徹性義歯を活用した補綴治療の臨床的意義とその方法を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 部分床義歯の種類と適応症を説明できる。
- 3) 歯列部分欠損による障害とその病体を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前、事後学習項目：局部床義歯の種類、目的について

事前、事後学習時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
05月31日	1時限	各論-IV-4-ウ-d 各論-IV-4-イ-a

---

担当者 \*伊藤 誠康

テーマ： 局部床義歯のサベイングと前処置

授業の一般目標： 歯の欠損に対する補綴治療ができるようになるために、局部床義歯の局部床義歯のサベイングと前処置について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 局部床義歯のサベイングを説明できる
- 3) 局部床義歯の前処置を説明できる

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：歯学生のパーシャルデンチャー17章、21章、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（2016、学建書院）10章、12章の予習  
事前学修時間：60分  
事後学修項目：配布資料の復習  
事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月01日	1時限	各論-IV-4-ア-a 各論-IV-4-ア-b

---

担当者 \*大久保 昌和

テーマ： 局部床義歯の設計の原則と構成要素

授業の一般目標： 歯の欠損に対する補綴治療ができるようになるために、局部床義歯の設計の原則と構成要素について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する
- 2) 局部床義歯の設計の原則を説明できる
- 3) 局部床義歯の構成要素とそれぞれの機能を説明できる

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修の推奨  
歯学生のパーシャルデンチャー第6版（2018、医歯薬出版）  
スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（2016、学建書院）  
準備学修時間 120分  
事後学修：配布資料の復習 学修時間 120分

講義日	時限	国試出題基準
06月03日	1時限	各論-IV-5-ア

---

担当者 \*木本 統

テーマ： 全部床義歯の形態

授業の一般目標： 全部床義歯の形態を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) □臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 上顎全部床義歯の辺縁形態を述べることができる。
- 3) 下顎全部床義歯の辺縁形態を述べることができる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学習項目：無歯顎補綴治療学第3版の講義内容部位を自学自習する。  
事前学習時間：60分  
事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理  
事後学修時間：30分

-----

講義日	時限	国試出題基準
06月04日	1時限	各論-IV-5-ア

---

担当者 \*木本 統

テーマ： 全部床義歯の咬合

授業の一般目標： 全部床義歯の咬合を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) □臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 全部床義歯の咬合様式を述べるができる。
- 3) 片側性咬合平衡を述べるができる。
- 4) 両側性咬合平行を述べるができる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学習項目：無歯顎補綴治療学第3版の講義内容部位を自学自習する。  
事前学習時間：60分  
事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理  
事後学修時間：30分



講義日            時限            国試出題基準  
06月05日        1時限        各論-IV-7-ア

---

担当者        \*飯島 守雄

テーマ：        歯質・歯・顎顔面欠損による障害：顎顔面補綴装置

授業の一般目標： 顎欠損を有する患者の特性および特殊な装置による治療（顎顔面補綴装置による治療）を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) □臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 顎顔面に欠損を有する患者の機能障害を説明できる。
- 3) 顎骨欠損の成因を説明できる。
- 4) 顎顔面に欠損を有する患者の補綴方法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前、事後学習項目：顎口腔に大きな欠損を有する患者の特性を理解しておく。  
事前、事後学習時間：1時間程度

-----  
講義日            時限  
06月06日        1時限

---

担当者        \*清水 武彦

テーマ：        平常試験⑨-B

授業の一般目標： 正答率8割問題⑨-B領域について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 正答率8割問題⑨-B領域について理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：正答率8割問題⑨-B領域  
事前学修時間：4時間  
事後学修項目：正答率8割問題⑨-B領域  
事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
06月07日	1時限	必修-5-ア-e 必修-6-ウ-a 必修-6-ウ-b 総論-II-5-ア-a 総論-II-6-ア-b 総論-II-6-イ-b 総論-II-6-エ 総論-II-6-オ-b

---

担当者 五十嵐 由里子

テーマ： 基礎4 解剖学

授業の一般目標： 臨床に必須の頭頸部の骨系、筋系、神経系、脈管系の構造を説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) 頭蓋骨の構造を説明できる。
- 2) 頭頸部の筋の構造を説明できる。
- 3) 脳神経の構造を説明できる。
- 4) 脈管系の構造を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：解剖学の教科書において頭頸部の骨系、筋系、神経系、脈管系を復習しておく。
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：8割問題を再復習する。
- ・事後学修時間：15分

-----

講義日	時限	国試出題基準
06月08日	1時限	必修-1 2-セ-a

---

担当者 谷本 安浩

テーマ： 基礎5 歯科生体材料学

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた材料学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 金属材料、高分子材料、セラミック材料および複合材料の性質について説明できる。
- 2) 歯科生体材料の力学的、物理的、化学的性質および生物学的性質について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：8割問題の復習
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：8割問題の再復習
- ・事後学修時間：15分

講義日	時限	国試出題基準
06月10日	1時限	必修-5-ア-d 必修-5-ア-e

---

担当者 玉村 亮

テーマ： 基礎6 組織学

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた組織学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 4大組織（上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織）について説明できる。
- 2) 歯の構造について説明できる。
- 3) 口腔組織の構造について説明できる。
- 4) 歯の発生について説明できる。
- 5) 顎顔面の発生について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：8割問題の復習
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：8割問題の再復習
- ・事後学修時間：15分

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月11日	1時限	総論-I-4-ア-a 総論-I-4-ア-b 総論-I-4-ア-c

---

担当者 \*笹井 啓史

テーマ： 社会保障制度全般

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 1. 社会保障の定義と制度体系について説明できる。
- 2) 2. 保健、医療、福祉（介護を含む）の各制度について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：社会保障制度
- 事前学修時間：180分
- 事後学修項目：社会保障制度
- 事後学修時間：180分

講義日 時限 国試出題基準  
06月12日 1時限 各論-V-6-A-a 各論-V-6-A-b 各論-V-6-I 各論-V-6-U 総論-VI-1-I-e

担当者 \*三田村 佐智代

テーマ： 高齢者の摂食嚥下障害とリハビリテーション

授業の一般目標： 摂食嚥下リハビリテーションを理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 摂食嚥下障害の検査について説明できる。
- 3) 摂食嚥下リハビリテーションについて説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目とそれに要する時間数：摂食嚥下障害の検査およびリハビリテーションについて（60分）  
事後学修項目とそれに要する時間数：摂食嚥下障害の検査，間接訓練，直接訓練（60分）

=====  
講義日 時限 国試出題基準  
06月13日 1時限 総論-VI-1-I-a 総論-VI-1-I-c 総論-VI-1-A-e

担当者 \*浅野 隆

テーマ： 下顎運動および口腔機能検査

授業の一般目標： 補綴治療の際に必要な下顎運動および口腔機能検査の準備と診療補助ができるようになるために、使用する器材、方法、目的を説明できる

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 咬合検査の方法と目的を理解できる。
- 3) 下顎運動検査の方法と目的を理解できる。
- 4) 筋機能検査の方法と目的を理解できる。
- 5) 模型を用いた検査方法と目的を理解できる。

準備学修項目と準備学修時間：

臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  
・補綴治療および高齢者の補綴治療のための下顎運動検査と口腔機能検査を説明できる。  
【事前学習項目と準備学修時間】  
・事前学習：補綴学および高齢者歯科学の教科書または参考図書の授業範囲を熟読する。  
・事前学修時間：60分  
・事後学修時間：60分  
事前学修項目：下顎運動検査、口腔機能検査  
事前学修時間：30分  
事後学修項目：下顎運動検査、口腔機能検査  
事後学修時間：30分

講義日            時限            国試出題基準  
06月14日        1時限        総論-Ⅱ-6-イ-b

---

担当者        \*飯田 崇

テーマ：        生理学と咀嚼系の機能障害

授業の一般目標： 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために、補綴学の顎機能に関する知識・技能および態度を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ、説明できる。
- 3) 下顎運動の基準となる点、線、面を分類し、説明できる。
- 4) 下顎位の名称を挙げ、説明できる。
- 5) 下顎の限界運動について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：補綴学の顎機能に関する知識・技能  
事前学習時間：30分  
事後学修項目：補綴学の顎機能に関する知識・技能  
事後学習時間：30分

=====

講義日            時限            国試出題基準  
06月15日        1時限        各論-Ⅲ-3-イ-f

---

担当者        \*飯田 崇

テーマ：        口腔顔面痛

授業の一般目標： 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために、口腔顔面痛に関する知識・技能および態度を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 非定型歯痛を説明できる。
- 3) 神経障害性疼痛を説明できる。
- 4) 非定型歯痛および神経障害性疼痛の診断について説明できる。
- 5) 非定型歯痛および神経障害性疼痛の治療方法について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：口腔顔面痛に関する知識・技能  
事前学習時間：30分  
事後学修項目：口腔顔面痛に関する知識・技能  
事後学習時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
06月17日	1時限	各論-V-3-エ

---

担当者 \*飯田 崇

テーマ： 高齢者の歯科治療

授業の一般目標： 適切な高齢者の口腔管理を行うために、高齢者への歯科治療、口腔管理方法、摂食・嚥下障害への対応について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 高齢者の歯科治療について説明できる。
- 3) 高齢者の口腔衛生管理について説明できる。
- 4) 高齢者における摂食・嚥下障害の原因について説明できる。
- 5) 高齢者の栄養管理について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：高齢者への歯科治療、口腔管理方法、摂食・嚥下障害への対応  
事前学習時間：30分  
事後学修項目：高齢者への歯科治療、口腔管理方法、摂食・嚥下障害への対応  
事後学習時間：30分

-----

講義日	時限	国試出題基準
06月18日	1時限	必修-2-イ-a

---

担当者 \*笹井 啓史

テーマ： 保健医療関係法規1（歯科医師法等）

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 1. 歯科医師法等歯科医師の法的義務について説明できる。
- 2) 2. 医療関係職種各身分に関する関係法規について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：歯科医師法等医療関係職種各身分法  
事前学修時間：180分  
事後学修項目：歯科医師法等医療関係職種各身分法  
事後学修時間：180分

講義日 時限  
06月19日 1時限

---

担当者 \*清水 武彦、\*飯島 守雄

テーマ： 平常試験③

授業の一般目標： 加齢と歯の欠損の領域について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 口臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 加齢と歯の欠損の領域について理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学習項目：ユニット3の復習  
事後学習項目：できなかった項目を復習する。  
事前、事後学習時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月20日	1時限	総論-I-5-ア-b 総論-I-2-ウ-e 総論-I-2-ウ-c 総論-I-2-ウ-g 総論-I-5-ア-a

---

担当者 \*有川 量崇

テーマ： 予防と健康管理増進（産業保健・国際保健）

授業の一般目標： 産業保健と国際保健における口腔疾患の予防と管理・保健指導について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 産業歯科保健について説明できる。
- 2) 国際保健における歯科の役割を説明できる。
- 3) 国際機関を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：産業保健と国際保健関連の基本  
事前学修時間：30分  
事後学修項目：産業保健と国際保健関連の項目  
事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
06月21日	1時限	必修-1 2-ケ-b 総論-VII-2-ア-d 総論-VIII-2-イ 総論-VIII-3-ウ 総論-VIII-3-エ 総論-VIII-3-オ 総論-VIII-6-キ 総論-VIII-9-ア-a

担当者 \*田中 孝明

テーマ： 診療用器具と補綴修復材料

授業の一般目標： クラウンブリッジの治療を理解し、臨床実習を円滑に行えるために、クラウンブリッジに用いられる診療用器具と補綴修復材料について学習する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 検査に必要な器具と材料について説明できる。
- 3) 支台歯形成に用いるエアータービンとマイクロモーターの特徴を知る。
- 4) 研磨切削用具の種類と使用方法を知る。
- 5) 咬合採得に使用する材料と機器の特徴を知る。
- 6) プロビジョナルレストレーションに用いる器具と材料を知る。
- 7) 印象採得に用いる器具と材料の特徴を知る。
- 8) 補綴物の調整に用いる器具と材料を知る。
- 9) 仮着と合着に用いる材料を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学 医歯薬出版 第2章 臨床操作1，第4章 臨床操作2の主たる項目について予習する。

事前学修時間：30分

事後学習項目：配布資料の復習，不足項目の補充

事後学習時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
06月22日	1時限	各論-IV-3-イ-c 各論-IV-3-イ-b

担当者 \*大村 祐史

テーマ： 支台築造と支台歯形成

授業の一般目標： 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における治療法に関する知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床に基づいた基本事項と最新の状況を教授する。
- 2) 築造窩洞形成の原則と手順を説明できる。
- 3) 支台築造の種類と方法を説明できる。
- 4) 支台築造の選択基準を説明できる。
- 5) 歯頸部辺縁形態の分類と適応を説明できる。
- 6) 全部被覆冠の支台歯形成の手順を説明できる。
- 7) 部分被覆冠の支台歯形成の手順を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：歯科医師国家試験問題過去問演習およびクラウンブリッジ補綴学第5版に記載されている関連事項の確認。

事前学修時間：3時間

事後学修項目：問題演習の内容を理解し正答できる。全体の流れと要点を頭の中に整理できる。

事後学修時間：3時間



講義日	時限	国試出題基準
06月24日	1時限	必修-1 3-ウ

---

担当者 バワール ウジャール

テーマ： チェアサイドの英会話

授業の一般目標： 1. Endodontics & Operative Dentistry  
2. Important Vocabulary

到達目標SBOs：

- 1) 医療英語、医療単語を理解し、話すことができる。
- 2) 国家試験の英語問題に対応できる。
- 3) 海外留学も視野にいた、医療英語を身につける。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：一年生の教科書を熟読する。
- ・準備学修時間：30分
- ・事後学修項目：配布したプリントの見直し。
- ・事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月25日	1時限	必修-1 3-ウ

---

担当者 バワール ウジャール

テーマ： チェアサイドの英会話

授業の一般目標： 1. Prosthodontic Treatment  
2. Important Vocabulary

到達目標SBOs：

- 1) 医療英語、医療単語を理解し、話すことができる。
- 2) 国家試験の英語問題に対応できる。
- 3) 海外留学も視野にいた、医療英語を身につける。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：一年生の教科書を熟読する。
- ・準備学修時間：30分
- ・事後学修項目：配布したプリントの見直し。
- ・事後学修時間：30分

講義日 時限 国試出題基準  
06月26日 1時限 必修-13-ウ

---

担当者 バワール ウジャール

テーマ： チェアサイドの英会話

授業の一般目標： 1. Periodontal Treatment  
2. Important Vocabulary

到達目標SBOs：

- 1) 医療英語、医療単語を理解し、話すことができる。
- 2) 国家試験の英語問題に対応できる。
- 3) 海外留学も視野にいた、医療英語を身につける。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：一年生の教科書を熟読する。
- ・準備学修時間：30分
- ・事後学修項目：配布したプリントの見直し。
- ・事後学修時間：30分

=====

講義日 時限 国試出題基準  
06月27日 1時限 総論-VII-2-ア-a 各論-IV-3-イ-d 各論-IV-3-イ-f

---

担当者 \*田中 孝明

テーマ： 印象採得と咬合採得

授業の一般目標： クラウンブリッジの印象採得と咬合採得を理解するために、印象法の特徴と手法および咬合採得の手順を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) クラウンブリッジの印象採得に用いる材料を列挙することができる。
- 3) 印象採得の手順を説明できる。
- 4) 印象法の種類と特徴を説明できる。
- 5) クラウンブリッジの咬合採得に用いる材料を列挙できる。
- 6) 咬合床を用いる印象採得の必要性を述べることができる。
- 7) 咬合採得の下顎位を説明できる。
- 8) チェックバイトの目的を説明できる。
- 9) チェックバイトを用いた咬合器の調整方法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学 医歯薬出版 V 印象採得 VII 顎間関係の記録（咬合採得）を予習する。  
事前学修時間：30分  
事後学習項目：配布資料の復習  
事後学習時間：30分

講義日            時限            国試出題基準  
06月28日        1時限        各論-IV-1-エ

---

担当者        \*大村 祐史

テーマ：        歯冠補綴装置のトラブル対処法

授業の一般目標： クラウンあるいは支台装置の脱離、破折した際の対応処置と修理方法を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 支台築造の原則を説明することができる。
- 3) 支台築造の目的を列挙できる。
- 4) 帯環効果を説明できる。
- 5) 脱離の原因を説明できる。
- 6) 前装部の脱離と破折の原因を説明できる。
- 7) 前装部の修理方法を述べるることができる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：歯冠補綴装置のトラブル対処法  
事前学修時間：30分  
事後学修項目：歯冠補綴装置のトラブル対処法  
事後学修時間：30分

=====

講義日            時限  
06月29日        1時限

---

担当者        \*清水 武彦

テーマ：        平常試験⑨-C

授業の一般目標： 正答率8割問題⑨-C領域について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 正答率8割問題⑨-C領域について理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：正答率8割問題⑨-C領域  
事前学修時間：4時間  
事後学修項目：正答率8割問題⑨-C領域  
事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
07月01日	1時限	各論-IV-3-ウ-b

---

担当者 \*小林 平

テーマ： 最新の歯冠補綴臨床

授業の一般目標： 歯冠補綴治療における最新の臨床技術、材料、器具等について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) メラニン色素の沈着による歯肉の変色の原因を理解し、対処法について説明できる。
- 3) 歯冠補綴処置における前処置の方法を説明できる
- 4) ブラックトライアングルの原因と対処方法について説明できる。
- 5) ラミネートベニアの適応症と術式を説明できる。
- 6) オールセラミックによる審美治療について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

\*事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学 第5版

\*事前学修時間：30分

\*事後学修項目：講義のレジメ

\*事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月02日	1時限	総論-VII-2-ア-a

---

担当者 \*寺中 文子

テーマ： 齶蝕の特徴と処置方針

授業の一般目標： 齶蝕に対する適切な処置、治療方針の立案を行えるようになるために、齶蝕の病因・病態、主要症候について学修する。

到達目標 S B O s :

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 齶蝕の特徴について説明できる。
- 3) 齶蝕の主要症候について説明できる。
- 4) 齶蝕に対する適切な治療方針を選択できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：齶蝕の特徴と処置方針

事前学修時間：60分

事後学修項目：齶蝕の病因・病態、主要症候、治療方針について

事後学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準  
07月03日 1時限 総論-VI-1-A-a

---

担当者 \*神谷 直孝

テーマ： 硬組織疾患の検査

授業の一般目標： 患者の主訴や口腔内所見から適切な検査を選択し、その結果から正しい診断ができるようになるために、歯の硬組織疾患の検査について学修する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 齲蝕の検査について説明できる。
- 3) 齲蝕以外の硬組織疾患の検査について説明できる。
- 4) 硬組織疾患の検査に必要な器具の操作方法を説明できる。
- 5) 検査結果から硬組織疾患の正しい診断ができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：保存修復学（第6版）のp.50～58を熟読し予習を行う。
- ・事前学修時間：40分
- ・事後学修項目：配布資料を再読し授業内容の復習を行う。
- ・事後学修項目：50分

=====

講義日 時限 国試出題基準  
07月04日 1時限 各論-II-1-U-b 総論-VIII-5-A-a 各論-II-1-U-b 各論-II-1-U-d 総論-VII-2-A-a

---

担当者 \*神谷 直孝

テーマ： コンポジットレジン修復の基礎

授業の一般目標： 保存修復処置の中で最も頻回に実施されるコンポジットレジン修復の介助および自験を適切に実施できるようになるために、コンポジットレジン修復の基礎について学修する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) コンポジットレジンの組成について説明できる。
- 3) コンポジットレジンの歯面処理について説明できる。
- 4) コンポジットレジン修復窩洞について説明できる。
- 5) コンポジットレジン修復の手順について説明できる。
- 6) コンポジットレジンの種類について説明できる。
- 7) 光重合型コンポジットレジン修復の臨床的特徴について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：保存修復学（第6版）のp.139～166を熟読し予習を行う。
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：配布資料を再読し授業内容の復習を行う。
- ・事後学修項目：60分

講義日	時限	国試出題基準
07月05日	1時限	各論-Ⅱ-1-ア-c

---

担当者 \*岡田 珠美

テーマ: Tooth Wearとその対応

授業の一般目標: Tooth Wear(歯の損耗)を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、Tooth Wearの臨床症状と診断および処置方針について理解する。

到達目標SBOs:

- 1)「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2)Tooth Wearの病因、病態および診断を説明できる。
- 3)Tooth Wearの処置方針を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間:

事前学修項目: 保存修復学第6版(p.15~17、p75~79)の再読

事前学修時間: 60分

事後学修項目: 配布資料及び保存修復学第6版(p.15~17、p75~79)の再読、重要事項の暗記、関連する国家試験過去問の見直しなど

事後学修時間: 120分以上

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月06日	1時限	各論-Ⅱ-1-ア-e 各論-Ⅱ-1-イ-g

---

担当者 \*岡田 珠美

テーマ: 歯の審美障害

授業の一般目標: 歯の審美障害を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、変色歯、形態不全歯、歯間離開の診断と処置方針について理解する。

到達目標SBOs:

- 1)「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2)歯の審美障害を引き起こす疾患について説明できる。
- 3)歯の変色の原因、診断、処置方針について説明できる。
- 4)形態不全歯の診断と処置方針について説明できる。
- 5)歯間離開の処置方針について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間:

事前学修項目: 保存修復学第6版(p.17~20、p82~88)の再読

事前学修時間: 60分

事後学修項目: 配布資料及び保存修復学第6版(p.17~20、p82~88)の再読、重要事項の暗記、関連する国家試験過去問の見直しなど

事後学修時間: 120分以上

講義日            時限            国試出題基準  
07月08日        1時限        各論-Ⅱ-1-ア-a

---

担当者        \*岩井 啓寿

テーマ：      根面齲蝕とセメント修復

授業の一般目標： 根面齲蝕の病因・病態とその修復法について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」
- 2) 根面齲蝕の病因・病態について説明できる。
- 3) 根面齲蝕の処置方針について説明できる。
- 4) グラスアイオノマーセメント修復について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：齲蝕の病因について
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：根面齲蝕の特徴とその治療法について
- ・事後学修時間：60分

-----  
講義日            時限  
07月09日        1時限

---

担当者        \*清水 武彦、\*岩井 啓寿

テーマ：      平常試験④

授業の一般目標： 齲蝕と硬組織欠損の領域について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 齲蝕と硬組織欠損の領域について理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：齲蝕と硬組織欠損の領域
- 事前学修時間：4時間
- 事後学修項目：齲蝕と硬組織欠損の領域
- 事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
07月10日	1時限	必修-2-イ-b

---

担当者 \* 笹井 啓史

テーマ： 保健医療関係法規 2（医療法等）

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。

到達目標 S B O s :

1) 医療法について理解できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：医療法  
事前学修時間：180分  
事後学修項目：医療法  
事後学修時間：180分

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月11日	1時限	総論-I-1-ウ-f

---

担当者 \* 笹井 啓史

テーマ： 保健医療関係法規 3（地域保健法等）

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。

到達目標 S B O s :

1) 地域保健法について説明できる。  
2) 保健所・市町村保健センターについて説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

・ 準備学修項目：歯科医師法他医療関係職種各身分法  
・ 準備学修時間：180分



講義日	時限	国試出題基準
07月12日	1時限	必修-7-ア-d 必修-7-イ-a 必修-7-イ-b 必修-7-イ-c

---

担当者 \*宇都宮 忠彦

テーマ： 炎症の病理組織学

授業の一般目標： 歯髄、歯周組織及び顎骨の炎症性疾患を正しく診断・治療するために、炎症の病理組織学的知識や組織特異性について学修する。

到達目標SBOs：

- 1) 炎症の病因について解説できる。
- 2) 炎症の成り立ちと徴候について病理組織学的に説明できる。
- 3) 炎症の病理組織学的分類について解説できる。
- 4) 歯髄組織及び根尖性歯周組織の炎症性変化について説明できる。
- 5) 辺縁歯周組織の炎症性変化について解説できる。
- 6) 顎骨の炎症性変化について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：  
炎症の5徴候  
炎症の病理組織学的分類  
急性炎症と慢性炎症の相違点  
歯髄炎及び根尖歯周組織の炎症の病理組織学的特徴  
辺縁歯周組織の炎症の病理組織学的特徴  
顎骨の炎症の病理組織学的特徴

準備学修時間：40分

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月13日	1時限	総論-III-2-ア-b

---

担当者 \*岡部 達

テーマ： 根尖性歯周炎の分類・診断

授業の一般目標： 誘発痛や自発痛を主訴とする患者に対し、歯髄炎・根尖性歯周炎の診断および処置方針の決定ができるようになるために、臨床症状をもとに歯髄炎・根尖性歯周炎の特徴を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 1) 歯髄炎・根尖性歯周炎の原因を説明できる。
- 3) 2) 歯髄炎・根尖性歯周炎の進行の特徴を説明できる。
- 4) 3) 可逆性歯髄炎、不可逆性歯髄炎の特徴を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：炎症の基本的な病態、臨床症状を確認する。
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。
- ・事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
07月16日	1時限	各論-Ⅱ-2-イ-a

---

担当者 \*神尾 直人

テーマ： 歯髄炎・根尖性歯周炎の治療の基礎

授業の一般目標： 歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に治療できるようになるために、可逆性歯髄炎に対する処置について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 覆髄法の分類と処置について説明できる。
- 3) 歯髄鎮痛消炎療法について説明できる。
- 4) 生活歯髄切断法について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目 歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。
- ・事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月17日	1時限	各論-Ⅱ-2-イ-c

---

担当者 \*神尾 直人

テーマ： 歯髄炎・根尖性歯周炎の治療の基礎

授業の一般目標： 歯髄・根尖性歯周疾患を適切に治療できるようになるために、全部性歯髄炎、根尖性歯周炎に対する治療について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 根管治療の原則について説明できる。
- 3) 歯髄除去療法について説明できる。
- 4) 感染根管治療について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目 歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。
- ・事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
07月18日	1時限	総論-VI-1-A-c

---

担当者 \*高井 英樹

テーマ： 歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療の基礎

授業の一般目標： 歯周疾患を正確に診断・治療するために、歯周組織の構造、歯周疾患の診査法および診断名について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 正常歯周組織を理解する。
- 3) 歯周病の原因と進行機序を理解する。
- 4) 歯周病の診査法を理解する。
- 5) 歯周病の診断名を理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：臨床歯周治療学第2版（第1～3章、13、14章）を熟読する。

準備学習時間：2時間

事後学習項目：授業配布プリントを熟読する。

事後学習時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月19日	1時限	各論-II-3-U-b

---

担当者 \*高井 英樹

テーマ： 歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療の基礎

授業の一般目標： 歯周疾患を正確に診断・治療するために、歯周疾患の診査法および治療法について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 歯周病の診査法を理解する。
- 3) 歯周基本治療の内容を理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：臨床歯周治療学第2版（第4～7章、12章）を熟読する。

準備学習時間：2時間

事後学習項目：授業配布プリントを熟読する。

事後学習時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
07月20日	1時限	各論-Ⅱ-3-ウ-d

---

担当者 \*高井 英樹

テーマ： 歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療の基礎

授業の一般目標： 歯周病の治療法を理解するために、歯周外科手術および治療後の治癒機転・予後について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 歯周外科治療について理解する。
- 3) メインテナンスとSPTについて理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：臨床歯周治療学第2版（第8、9、11、25～28章）を熟読する。  
準備学習時間：2時間  
事後学習項目：授業配布プリントを熟読する。  
事後学習時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月22日	1時限	各論-Ⅲ-2-エ-h

---

担当者 \*青木 暁宣

テーマ： 隙の分類・炎症の波及経路

授業の一般目標： 炎症の患者に対応できるようになるために、隙の分類・炎症の波及経路について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する
- 2) 隙の分類を説明できる。
- 3) 隙を理解し、説明することができる。
- 4) 炎症の波及経路を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：隙の分類、炎症の波及経路について  
事前学習項目：教科書の熟読する。  
事前学習時間：20分  
事後学習項目：授業プリント、教科書の確認をする。  
事後学習時間：50分

講義日	時限	国試出題基準
07月23日	1時限	各論-Ⅲ-2-エ-c

---

担当者 \*青木 暁宣

テーマ： 顎骨の炎症（主に骨髄炎・上顎洞炎）

授業の一般目標： 骨髄炎・上顎洞炎の患者に対応できるようになるために、顎骨に生じる骨髄炎・上顎洞炎の分類、診断、病期、症状、治療の基礎について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する
- 2) 骨髄炎・上顎洞炎の分類を説明できる。
- 3) 骨髄炎・上顎洞炎を診断できる。
- 4) 骨髄炎・上顎洞炎の病期を説明できる。
- 5) 骨髄炎・上顎洞炎の症状を説明できる。
- 6) 骨髄炎・上顎洞炎の治療法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：骨髄炎と上顎洞炎について。  
事前学習項目：教科書の熟読する。  
事前学習時間：20分  
事後学習項目：授業プリント、教科書の確認をする。  
事後学習時間：50分

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月24日	1時限	各論-Ⅱ-1-イ-d 必修-4-ウ-a

---

担当者 田口 千恵子

テーマ： 予防と健康管理増進（フッ化物応用）

授業の一般目標： 口腔疾患の予防におけるフッ化物応用について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) フッ化物応用による全身的応用法について説明できる。
- 2) フッ化物による局所的応用法について説明できる。
- 3) フッ化物応用による安全性について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：フッ化物の各種応用方法  
事前学修時間：180分  
事後学修項目：フッ化物の各種応用方法  
事後学修時間：180分

講義日	時限	国試出題基準
07月25日	1時限	総論-I-6-ア-c 総論-I-6-ア-a 総論-I-6-ア-d 総論-I-6-ア-e 総論-I-6-ア-f

---

担当者 \*有川 量崇

テーマ： 医療統計学

授業の一般目標： 歯科疾患の予防・管理を行うために必要な、医療統計学について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)疫学の定義と目的について述べることができる。
- 2)スクリーニング検査について述べるができる。
- 3)敏感度・特異度について理解できる。
- 4)記述疫学、観察疫学（コホート研究・患者対照研究）、介入疫学について理解できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：歯科疾患の統計指標  
事前学修時間：30分  
事後学修項目：歯科疾患の統計指標  
事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月26日	1時限	必修-4-ウ-c 各論-II-3-イ-f 各論-II-1-イ-e 各論-II-1-イ-g

---

担当者 田口 千恵子

テーマ： 予防と健康管理増進（保健指導・口腔清掃）

授業の一般目標： 口腔疾患の予防と管理における口腔清掃と保健指導について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)栄養と食生活について説明できる。
- 2)機械的清掃法・化学的清掃法について説明できる。
- 3)口腔清掃方法について説明できる。
- 4)口腔の沈着物について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：口腔清掃方法の違いと特徴  
事前学修時間：180分  
事後学修項目：口腔清掃方法の違いと特徴  
事後学修時間：180分

講義日 時限  
07月27日 1時限

---

担当者 \*清水 武彦、\*高井 英樹

テーマ： 平常試験⑤

授業の一般目標： 炎症の領域について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 炎症の領域について理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：炎症の領域  
事前学修時間：4時間  
事後学修項目：炎症の領域  
事後学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
08月17日	1時限	必修-2-イ-d

---

担当者 \*笹井 啓史

テーマ： 薬事関係法規（薬機法等）

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 薬機法について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：薬事関係法規（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等）  
事前学修時間：180分  
事後学修項目：薬事関係法規（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等）  
事後学修時間：180分

講義日            時限            国試出題基準  
08月19日        1時限        必修-2-イ-c 総論-I-4-ア-b

---

担当者        \* 笹井 啓史

テーマ：        福祉・介護関係法規

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 介護保険について説明できる。
- 2) わが国の福祉・介護関係法規について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：介護保険法、医療法  
事前学修時間：180分  
事後学修項目：介護保険法、医療法  
事後学修時間：180分

=====

講義日            時限  
08月20日        1時限

---

担当者        \* 清水 武彦

テーマ：        平常試験⑨-D

授業の一般目標： 正答率8割問題⑨-D領域について理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：正答率8割問題⑨-D領域  
事前学修時間：4時間  
事後学修項目：正答率8割問題⑨-D領域  
事後学修時間：1時間



講義日	時限	国試出題基準
08月21日	1時限	必修-1 2-コ-a 必修-1 2-コ-b 必修-1 2-コ-c

---

担当者 松本 裕子

テーマ： 基礎7 薬理学

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた薬理学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1)薬物の作用機序について説明できる。
- 2)薬物動態について説明できる。
- 3)薬物の副作用について説明できる。
- 4)薬物の相互作用について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：8割問題の復習
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理
- ・事後学修時間：30分

-----

講義日	時限	国試出題基準
08月22日	1時限	各論-III-4-サ

---

担当者 \* 瀧上 真奈

テーマ： 有病者の検査項目について（1）

授業の一般目標： 全身状態を有する患者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査の基礎、検査値および検査結果の読み方を理解する。

到達目標SBOs：

- 1)臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2)全身状態の診断に必要な検査項目と意義を述べられる。
- 3)各臨床検査の基準値を知り、異常値を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：検査項目と基準値を事前に確認する。
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：授業で配布したプリントを理解する。
- ・事後学修時間：約1時間

講義日	時限	国試出題基準
08月23日	1時限	各論-Ⅲ-4-サ

---

担当者 \* 渕上 真奈

テーマ： 有病者の検査項目について（2）

授業の一般目標： 全身状態を有する患者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査の基礎、検査値および検査結果の読み方を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 全身状態の診断に必要な検査項目と意義を述べられる。
- 3) 各臨床検査の基準値を知り、異常値を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：検査項目と基準値を事前に確認する。
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：授業で配布したプリントを理解する。
- ・事後学修時間：約1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
08月24日	1時限	必修-1 2-ス-b 総論-VII-4-イ-c

---

担当者 \* 鈴木 正敏

テーマ： 糖尿病患者の歯科治療時の注意点について

授業の一般目標： 全身疾患（糖尿病）患者にてきせつに対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 糖尿病の病態について説明することができる。
- 3) 糖尿病患者の外科処置時の注意点について説明することができる。
- 4) 低血糖の病態について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第3版 p81-82, 282
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。
- ・事後学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準  
08月26日 1時限 総論-V-6-A-b 必修-1 2-ス-b

---

担当者 \*下坂 典立

テーマ： 循環器疾患患者の全身管理について（1）

授業の一般目標： 全身疾患（高血圧症および虚血性心疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 高血圧症の病態について説明することができる。
- 3) 高血圧症患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。
- 4) 局所麻酔時に留意すべき降圧薬について説明することができる。
- 5) 血圧上昇時の対応について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：スタンダード 全身管理・歯科麻酔学第3版または第4版の「4. 管理上問題となる疾患」、「13. 局所麻酔法、F剤形」、「15. 歯科治療における全身的偶発症、2 背景疾患（内科的疾患）の急性増悪」について学修しておく。
- ・事前学修時間：30 分
- ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。
- ・事後学修時間：60 分

=====

講義日 時限 国試出題基準  
08月27日 1時限 総論-VII-1-E-b 必修-1 2-ス-b

---

担当者 \*下坂 典立

テーマ： 循環器疾患患者の全身管理について（2）

授業の一般目標： 全身疾患（虚血性心疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 虚血性心疾患について説明することができる。
- 3) 狭心症について説明することができる。
- 4) 心筋梗塞について説明することができる。
- 5) 虚血性心疾患患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。
- 6) 虚血性心疾患発症時の心電図変化について説明することができる。
- 7) 虚血性心疾患発症時の心電図変化について説明することができる。
- 8) 虚血性心疾患発症時の対応について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：スタンダード 全身管理・歯科麻酔学第3版または第4版の「4. 管理上問題となる疾患」、「13. 局所麻酔法、F剤形」、「15. 歯科治療における全身的偶発症、2 背景疾患（内科的疾患）の急性増悪」について学修しておく。
- ・事前学修時間：30 分
- ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。
- ・事後学修時間：60 分

講義日	時限	国試出題基準
08月28日	1時限	総論-VII-1-エ-g

---

担当者 \*山口 秀紀

テーマ： 精神疾患患者の全身管理について

授業の一般目標： 精神疾患患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) うつの病態について説明することができる。
- 3) うつ患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。
- 4) 統合失調症の病態について説明することができる。
- 5) 統合失調症患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。
- 6) 抗精神病薬内服患者の局所麻酔時の注意点について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：スタンダード 全身管理・歯科麻酔学第3版または第4版の「4. 管理上問題となる疾患」、「13. 局所麻酔法、F剤形」、「15. 歯科治療における全身的偶発症、2 背景疾患（内科的疾患）の急性増悪」について学修しておく。
- ・事前学修時間：30 分
- ・事後学修項目：授業で配布した資料。
- ・事後学修時間：60 分

=====

講義日	時限	国試出題基準
08月29日	1時限	総論-VI-2-エ-c

---

担当者 \*平原 尚久

テーマ： 画像検査（1）

授業の一般目標： 顎顔面領域の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 口内法エックス線検査を説明できる。
- 3) パノラマエックス線検査を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：各種画像検査法の特徴、選択基準を事前に確認する。2・3年次で使用した放射線学のノートを見直し、授業時に持参すること。
- ・事前学修時間：30 分
- ・事後学修項目：授業で配布した資料。
- ・事後学修時間：60 分

講義日	時限	国試出題基準
08月30日	1時限	総論-VI-2-オ-a

---

担当者 \*平原 尚久

テーマ： 画像検査（2）

授業の一般目標： 顎顔面領域の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) CT検査について説明することができる。
- 3) MRI検査について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：各種画像検査法の特徴、選択基準を事前に確認する。2・3年次で使用した放射線学のノートを見直し、授業時に持参すること。
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：授業で配布した資料。
- ・事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
08月31日	1時限	総論-VI-2-ク-a

---

担当者 \*平原 尚久

テーマ： 画像検査（3）

授業の一般目標： 顎顔面領域の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 核医学検査について説明することができる。
- 3) 超音波検査について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：各種画像検査法の特徴、選択基準を事前に確認する。2・3年次で使用した放射線学のノートを見直し、授業時に持参すること。
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：授業で配布した資料。
- ・事後学修時間：60分

講義日 時限  
09月02日 1時限

---

担当者 \*清水 武彦、\*下坂 典立

テーマ： 平常試験⑥

授業の一般目標： 検査と全身管理の領域について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 検査と全身管理の領域について理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：検査と全身管理の領域  
事前学修時間：4時間  
事後学修項目：検査と全身管理の領域  
事後学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
09月03日	1時限	各論-Ⅲ-1-エ-a 各論-Ⅲ-1-エ-a 各論-Ⅲ-1-エ-b 各論-Ⅲ-2-オ-b

---

担当者 \*宇都宮 忠彦

テーマ： 嚢胞の分類

授業の一般目標： 口腔・顎・顔面領域に発生する嚢胞を正しく診断・治療するために、嚢胞の分類及び病理学的特徴について学修する。

到達目標SBOs：

- 1) 顎骨に発生する嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。
- 2) 軟組織に発生する嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。
- 3) 歯原性炎症性嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。
- 4) 歯原性発育性嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。
- 5) 偽嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：嚢胞の病理組織学的分類  
事前学修時間：40分  
事後学修項目：配布資料の復習・整理  
事後学修時間：40分

講義日 時限 国試出題基準  
09月04日 1時限 各論-Ⅲ-2-オ-a 各論-Ⅲ-2-オ-b 各論-Ⅲ-1-エ-b

---

担当者 \*田中 茂男

テーマ： 口腔顎顔面領域に発生する歯原性嚢胞と非歯原性嚢胞

授業の一般目標： 口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類と診断および治療法を理解する

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 顎骨に発生する歯原性嚢胞の分類と診断および治療法を説明できる。
- 3) 顎骨に発生する非歯原性嚢胞について分類と診断および治療法を説明できる。
- 4) 口腔顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞の分類と診断および治療法について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類と診断および治療法
- ・準備学修時間：60分
- ・事後学修項目：授業時に配布した資料を用いた復習
- ・事後学修時間：30分

=====

講義日 時限 国試出題基準  
09月05日 1時限 必修-7-ア-g 総論-Ⅲ-1-ク-a 総論-Ⅲ-1-ク-c 総論-Ⅲ-1-ク-d 総論-Ⅲ-1-ク-e 総論-Ⅲ-1-ク-f 総論-Ⅲ-1-ク-g

---

担当者 \*宇都宮 忠彦

テーマ： 腫瘍の分類

授業の一般目標： 口腔・顎・顔面領域に発生する腫瘍を正しく診断・治療するために、腫瘍の分類及び病理組織学的特徴について学修する。

到達目標 S B O s :

- 1) 非歯原性腫瘍を分類列举し、病理組織学的特徴について説明できる。
- 2) 歯原性腫瘍を分類列举し、病理組織学的特徴について説明できる。
- 3) 良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別点について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：・良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別点 ・歯原性腫瘍と非歯原性腫瘍の相違点
- 事前学修時間：40分
- 事後学修項目：配布資料の復習・整理
- 事後学修時間：40分

講義日	時限	国試出題基準
09月06日	1時限	各論-Ⅲ-2-カ-a

---

担当者 \*濱野 美緒

テーマ： 良性腫瘍の診断と治療

授業の一般目標： 顎口腔領域に発生する腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 腫瘍の分類ができる。
- 3) 腫瘍について説明できる。
- 4) 腫瘍の診断ができる。
- 5) 腫瘍の治療法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目:腫瘍の分類・診断・治療法を教科書を用いて学ぶ。

事前学修時間:30分

事後学修項目:授業での配布資料と教科書を照らし合わせた復習。

事後学修時間:60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
09月07日	1時限	各論-Ⅲ-1-オ-d

---

担当者 \*山本 泰

テーマ： 悪性腫瘍の診断と治療①

授業の一般目標： 顎口腔領域に発生する悪性腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 悪性腫瘍の分類ができる。
- 3) 悪性腫瘍について説明できる。
- 4) 悪性腫瘍の診断ができる。
- 5) 悪性腫瘍の治療法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目:指定教科書にて悪性腫瘍の分類・診断・治療法について熟読する

準備学修時間:30分

事後学修項目:講義で習得した内容を踏まえ、再度指定教科書を熟読しなおし知識を深める

事後学修時間:1時間



講義日	時限	国試出題基準
09月09日	1時限	各論-Ⅲ-1-カ-a

---

担当者 \*山本 泰

テーマ： 悪性腫瘍の診断と治療②

授業の一般目標： 顎口腔領域に発生する悪性腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 悪性腫瘍の分類が説明できる。
- 3) 悪性腫瘍について説明できる。
- 4) 悪性腫瘍の診断ができる。
- 5) 悪性腫瘍の治療法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：指定教科書にて悪性腫瘍の分類・診断・治療法について熟読する

準備学修時間：30分

事後学修項目：講義で習得した内容を踏まえ、再度指定教科書を熟読しなおし知識を深める

事後学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
09月10日	1時限	各論-Ⅲ-2-ア-a

---

担当者 \*枝 卓志

テーマ： 顎変形症の診断と治療

授業の一般目標： 顎変形症の分類、診断、治療の基礎について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する
- 2) 顎変形症の分類を説明できる。
- 3) 顎変形症の診断し、説明することができる。
- 4) 顎変形症の治療法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：第8勝 各論 F 顎顔面の変形および発育異常を熟読する。

事前学習項目：教科書の熟読する。

事前学習時間：20分

事後学習項目：授業プリント、教科書の確認をする。

事後学習時間：50分

講義日	時限	国試出題基準
09月11日	1時限	各論-Ⅲ-1-ア-a 各論-I-1-ア-b

---

担当者 \*大峰 浩隆

テーマ： 顔面・口腔の裂奇形

授業の一般目標： 顔面・口腔の裂奇形を説明できるようになるために、必要な知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 裂奇形を呈する疾患について診断できるようになるために、裂奇形を理解する。
- 3) 裂奇形について説明できる。
- 4) 唇裂の分類について説明できる。
- 5) 唇裂による障害について説明できる。
- 6) 口蓋裂の分類について説明できる。
- 7) 口蓋裂による障害について説明できる。
- 8) 顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目と時間：口腔外科領域における先天奇形の項目の確認 30分（実践を中心に）

4年次に授業を行った範囲の再確認 30分

事後学修項目と時間：口腔外科領域における先天奇形の項目 30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
09月12日	1時限	各論-Ⅲ-3-イ-h 各論-Ⅲ-3-イ-a

---

担当者 \*廣田 均

テーマ： 顔面の神経疾患

授業の一般目標： 片側顔面痙攣、三叉神経痛の診断と治療を学修する

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する
- 2) 片側顔面痙攣を説明できる
- 3) 三叉神経痛を説明できる

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：脳神経の解剖

事前学修時間：30分

事後学修項目：授業時配布資料のレビュー

事後学修時間：15分

講義日 時限  
09月13日 1時限

---

担当者 \*清水 武彦、\*山本 泰

テーマ： 平常試験⑦

授業の一般目標： 嚢胞・腫瘍の領域について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)嚢胞・腫瘍の領域について理解する。
- 2)臨床経験に基づき以下の内容を教授する。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：嚢胞・腫瘍の領域  
事前学修時間：4時間  
事後学修項目：嚢胞・腫瘍の領域  
事後学修時間：1時間

-----  
講義日 時限  
09月19日 1時限

---

担当者 \*清水 武彦

テーマ： 平常試験⑧（まとめ試験）

授業の一般目標： 歯科医療の展開のすべての講義領域について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)歯科医療の展開のすべての講義領域について理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：ユニット2～8の領域  
事前学修時間：24時間  
事後学修項目：ユニット2～8の領域  
事後学修時間：2時間

2019年度 5・6年次 指定教科書および参考図書

		図書名	出版社	ISBN
生理学	指定教科書	ビジュアル生理学・口腔生理学 第4版	学建書院	978-4-7624-2663-6
	参考図書	基礎歯科生理学 第6版	医歯薬出版	978-4-263-45668-2
薬理学	指定教科書	現代歯科薬理学	医歯薬出版	978-4-263-45656-9
	参考図書	ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学	永末書店	978-4-8160-1319-5
感染免疫学	指定教科書	口腔微生物学 ―感染と免疫―	学建書院	978-4-7624-4654-2
	参考図書	要約わかる口腔微生物学・免疫学	学建書院	978-4-7624-1673-6
		口腔微生物学・免疫学	医歯薬出版	978-4-263-45791-7
生化学・分子生物学	指定教科書	スタンダード 生化学・口腔生化学 第3版	学建書院	978-4-7624-2633-9
病理学	指定教科書	口腔病理アトラス 第3版	文光堂	978-4-8306-7004-6
	参考図書	新口腔病理学 第2版	医歯薬出版	978-4-263-45815-0
組織学	指定教科書	口腔組織・発生学 第2版	医歯薬出版	978-4-263-45784-9
解剖学	指定教科書	口腔解剖学 第2版	医歯薬出版	978-4-263-45810-5
歯科生体材料学	指定教科書	スタンダード歯科理工学 ―生体材料と歯科材料― 第6版	学建書院	978-4-7624-4614-6
	参考図書	コア歯科理工学	医歯薬出版	978-4-263-45614-9
衛生学	指定教科書	口腔衛生学2016	一世出版	978-4-87078-181-8
歯周治療学	指定教科書	臨床歯周病学 第2版	医歯薬出版	978-4-263-45662-0
	参考図書	ザ・ペリオドントロジー 第2版	永末書店	978-4-8160-1266-2
クラウンブリッジ補綴学	指定教科書	クラウンブリッジ補綴学 第5版	医歯薬出版	978-4-263-45783-2
歯内療法学	指定教科書	歯内療法学 第4版	医歯薬出版	978-4-263-45652-1
歯科矯正学	指定教科書	歯科矯正学 第5版	医歯薬出版	978-4-263-45615-6
口腔外科学/顎顔面外科学	指定教科書	サクシント口腔外科学 - カラーアトラス	学建書院	978-4-7624-2661-2
	参考図書	標準口腔外科学	医学書院	978-4-260-02042-8
口腔インプラント学	指定教科書	よくわかる口腔インプラント学 第3版	医歯薬出版	978-4-263-45800-6
	参考図書	口腔インプラント治療指針2016	医歯薬出版	978-4-263-45794-8
		口腔インプラント学実習書	永末書店	978-4-8160-1274-7

保存修復学	指定教科書	保存修復学 第6版	医歯薬出版	978-4-263-45663-7
	参考図書	保存修復学21 第5版	永末書店	978-4-8160-1321-8
放射線学	指定教科書	歯科放射線学 第6版	医歯薬出版	978-4-263-45812-9
	参考図書	Case based Review 顎口腔領域の疾患	永末書店	978-4-8160-1324-9
小児歯科学	指定教科書	小児の口腔科学 第5版	学建書院	978-4-7624-4646-7
	参考図書	小児歯科学 第5版	医歯薬出版	978-4-2634-5807-5
歯科総合診療学/医療行動科学	参考図書	歯科医療面接アートとサイエンス	砂書房	978-4-901894-77-7
顎口腔機能治療学	指定教科書	よくわかる高齢者歯科学	永末書店	978-4-8160-1339-3
有床義歯補綴学	指定教科書	無歯顎補綴治療学 第3版	医歯薬出版	978-4-263-45792-4
		歯学生のパーシャルデンチャー第5版	医歯薬出版	978-4-263-45624-8
	参考図書	スタンダードパーシャルデンチャー補綴学 第3版	学建書院	978-4-7624-2656-8
		困ったときにSEOAPで解決 有床義歯トラブルシューティング	永末書店	978-4-8160-1337-9
歯科麻酔学	指定教科書	スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第4版	学建書院	978-4-7624-3668-0
歯科麻酔学	参考図書	口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 第2版	医歯薬出版	978-4-263-44478-8
障害者歯科学	指定教科書	スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科 第2版	医歯薬出版	978-4-263-45801-3
	参考図書	歯科学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学	医歯薬出版	978-4-263-45622-4

学生番号 \_\_\_\_\_ (院内番号) \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_